

令和3年10月4日

報道関係者各位

国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学

テニユア・トラック制の独自運用による「女性教授」候補の採用

～若手女性研究者育成プロジェクトの公募を開始～

【概要】

奈良先端科学技術大学院大学（学長：塩崎一裕、以下：奈良先端大）先端科学技術研究科では、次代の教授候補となる若手女性研究者を支援するべく、「学長ビジョン・イニシアティブ 女性テニユア・トラック准教授採用プロジェクト」に基づく女性教員公募を開始しました。

国内大学で実施されている大多数のテニユア・トラック制が、准教授への育成を目指して助教クラスを採用する中であって、本学においては、将来の教授の育成を目指して准教授クラスを採用する点が、大きな特徴です。今回のプロジェクトでは、女性教授の割合の少ない理工系分野の現状の改善を目的に、女性研究者に限定した特任准教授の募集を行います。

※キーワード解説：テニユア・トラック制

海外の大学では若手教員を5年程度の任期付きで雇用し、テニユア（終身雇用資格）審査を経てその活躍に応じて定年制雇用に移行する本制度の導入が多くみられます。若手研究者の雇用の不安定性を緩和しつつ挑戦的な研究を促す制度として日本国内でも導入が進んでいます。

本学長ビジョン2030が掲げる「教職員の多様性の向上」、「学内資源の有効活用と配分の全学的マネジメント」および「教育研究環境整備への積極的な投資」の方針に基づくもので、先端科学技術研究科にて採用を行います。情報科学、バイオサイエンス、物質創成科学およびこれらの融合領域で活躍する優秀な若手女性研究者をリクルートし、本学教員の多様性の促進を図るとともに、新しい融合分野の開拓を先導する3～5年後の教授として育成、教育力および研究力の一層の強化を進めます。つきましては、記事掲載及び取材方よろしく申し上げます。

【ご連絡事項】

(1)本件につきましては、奈良先端科学技術大学院大学から奈良県文化教育記者クラブをメインとし、学研都市記者クラブ、大阪科学・大学記者クラブへ同時にご連絡しております。

(2)取材希望がございましたら、恐れ入りますが下記までご連絡願います。

奈良先端科学技術大学院大学 企画総務課 渉外企画係

TEL：0743-72-5026 FAX：0743-72-5011 E-mail：s-kikaku@ad.naist.jp

【プロジェクト内容】

若手の挑戦的な研究や女性教員の組織的な育成を通じて大学の研究力を強化することが求められています。特に若い研究者に早くから独立した研究環境を与え挑戦を促すことの重要性が指摘されています。また理工系では女性教員の比率が低く、特に教授クラスの女性教員を育成することが急務となっています。

本プロジェクトでは若手研究者を3～5年間にわたり支援し、独立した研究チームを主宰する特任

准教授として挑戦を促し、次代の教授候補者を育成します。新しい研究チームの立ち上げにおいては、当初の3年間（会計年度）に1,000万円の研究経費を用意するほか、3年間の博士研究員の雇用経費を用意するなど、手厚い支援を行います。大学院生の研究指導にも参画を求め、教育研究の両面での活躍を期待するとともに、メンター教員が研究チームの運営に助言を与えます。講義や学内用務などは最小限とし、研究に専念できる環境を整備します。3年目にテニユア中間評価、5年目にテニユア審査を行い、実績に応じて定年制雇用の教授に移行します。

今回公募する研究分野は先端科学技術研究科がカバーする情報科学、バイオサイエンス、物質創成科学およびそれらの融合領域としています。国際公募を行い、各分野の教員が候補者の選考を行います。学内にはデータ駆動型サイエンス創造センターおよびデジタルグリーンイノベーションセンターなどの融合領域研究センターが設置されており、これらのセンターとの連携による相乗効果にも期待できます。

【学内の教育研究環境】

総合情報基盤センター、遺伝子教育研究センターおよび物質科学教育研究センターが運用する全学情報環境システム（曼陀羅システム）、全学共用実験設備、放射線実験施設、動物実験施設、植物温室などの研究インフラの利用や、各センターに配置されている技術職員等の支援体制など、新しい研究チームを短時間で効率よく立ち上げることが出来る環境となっています。学内に教職員宿舎が整備されているほか、男女共同参画室による子育て世代へのきめ細かいサポート体制等も整っています。

本学では学生の約4分の1が留学生で、講義の半数以上は英語で開講されています。このため外国人教員の拡充を目指しており、本プロジェクトにおいても海外研究者からの積極的な応募を期待しています。教授会等では同時通訳が導入されていること、学内の通知メールが日英両言語で発信されること、ほぼすべての学内規程が英訳されていることなど外国人教員にとっても働きやすい環境が整えられています。

【これまでの経緯】

奈良先端大では、このようなテニユア・トラック制や試行事業などを約10年間にわたり実施してきました。すでにこれらのプログラムから2名の女性を含む5名の教授を輩出しています。これは全教授の約1割に相当します。それぞれの教授は学内の要職、学会の役員や大規模共同研究事業の中心メンバー等として本学および関連分野を牽引しつつあり、若手研究者のロールモデルとして活躍しています。本学は「テニユア・トラック先進大学」として、人事制度においても「先端」を自負するところです。